



はぎのさと

第28号

(平成31年3月発行)

平成30年度もたくさんの相談がありました！

昨年度から始まった西成区地域包括支援センターへの相談を振り返るコーナー。今年度も昨年4月から今年2月までの期間、地域別に相談経路を振り返ります。

岸 里

① 家族・親族

② 区役所

③ 医療機関

橋

① 家族・親族

② 本人

③ 区役所

弘 治

① 区役所

② 家族・親族

③ 介護保険事業所

萩之茶屋

① 医療機関

② 介護保険事業所

③ 見守り相談室

今年度の相談を振り返ると、多くの地域で家族・親族から相談を受けていることがわかります。一方、昨年度同様、自分自身のことで相談される方が少ないという結果になりました。ひとりで問題を抱え込んでしまう前にまずは一度“西成区地域包括支援センター”にご相談ください。

西成区地域包括支援センターはこれからも身近な相談窓口として、高齢者の暮らしに寄り添い支えます。平成31年度もよろしくお願いいたします。

ケアマネジャー勉強会

2月27日、今年度2回目のケアマネ勉強会（中ブロック）を開催しました。今回は織田隆之さん（くらしのサポートセンターなにわ）を講師に迎え「あいりん地域の歴史と現状」をテーマに地域の移り変わりを学びました。また、これまで知っているようで知らないあいりん地域の社会資源について、詳しくお話ししていただきました。

参加者からは「地域を知ることが利用者の支援に繋がる。今後の業務に活かしていきたい。」などの声が聞かれ有意義な勉強会となりました。

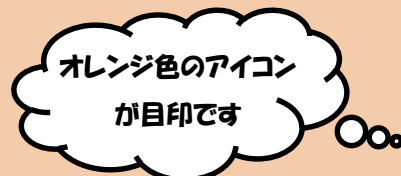


ご存知ですか？

大阪市認知症アプリ

“大阪市認知症アプリ”は、認知症チェックや認知症支援マップ、各種イベント情報等、さまざまな機能や情報が掲載されています。大阪市の情報に絞って配信されているため、市内にお住まいの方にとってより身近なツールになっています。

認知症サポーター関連情報も掲載しており、認知症の方だけではなく、ご家族、支援者、認知症に興味のある方にも活用しやすいよう作られています。



☆自立支援型ケアマネジメント検討会議☆ がはじまりました！

新しく要支援認定を受けた方で、筋力低下、慢性的な関節の痛みなどで運動する機会が減り、身体機能が低下するおそれがある方へのよりよい支援について話し合います。

会議には、担当のケアマネジャー、介護サービス提供事業所、区役所、区内地域包括に加え、助言者として医師、リハビリの専門職（理学療法士）も参加し、生活状況、医学的な観点を交えて自立した生活を送るために必要な支援を検討します。

初めて開催された今回の検討会議では、①短期間でも専門職のアドバイスを受けることで効果的なリハビリにつながる。②百歳体操等、地域で開催されるさまざまな「活動・つどいの場」への参加が大切。③生活習慣病にはバランスのとれた食事が大切であり、食事のためには自分に合った義歯の調整が大切等、さまざまな側面から自立支援に対する意見が交わされました。

今後もケアマネジャーを通じて検討会議のお話しをさせていただき、ケアプランへの提案をさせていただく場合がありますので、ご協力よろしくをお願いします。



医療や介護が必要になっても、安心して暮らせる西成区へ

～多職種連携研修～

高齢者人口の増加に伴い、医療と介護の両方を必要とするようになっても安心して地域で暮らし続けられるよう、在宅医療と介護の連携が求められています。

そうした中、2月21日、西成区でも区内の中核病院、地域包括支援センター、主任介護支援専門員連絡会合同の情報交換会が開催されました。総勢約80名が10グループに分かれ、医療機関がもつ機能や各々の強み・特性について意見交換を行ないました。

中核病院からは各病院で作成された“対応度チェックリスト”を用いて、それぞれの病院の機能や現状についてお話をいただきました。主任介護支援専門員からは医療連携で普段困っていることや難しいと感じていることなど普段直接話せないような話しをすることができ、コミュニケーションの中で多職種との情報共有が図ることができました。



安心して暮らせるまちづくりをめざします

社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会
西成区地域包括支援センター

西成区岸里 1-5-20 西成区合同庁舎 8階

電話：6656-0080 FAX：6656-0083

E-mail：houkatsu@nishinari-shakyo.jp

ホームページ：<http://nishinari-shakyo.jp/>

フェイスブックでも、さまざまな情報を発信中 ホームページから閲覧できます。（平成31年3発行）

